

事務事業名	21117 スポーツ推進事業													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R7	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	10	05	01	02	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	13	10	00		R6	01	10	05	01	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	11	31	32	● 対象	
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実										○ 対象外	
事業期間	平成16年度～令和7年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
	戸田市スポーツ推進条例												
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民等												
事業目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進を図り、市民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに楽しむことのできる環境をつくる。												
事業内容	スポーツ推進全般に係る事務。スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会、各種スポーツイベント・教室等を開催するとともに関係団体への補助を行い、市のスポーツ推進を図る。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）												
行財政改革の取り組み	重点戦略1 テーマ① 取組例：会議におけるオンライン参加環境の提案による事業費の削減 内容：これまで対面にて開催していた会議について、オンライン参加可能である旨を案内し、参加方法の多様化を図ることで開催日の調整や資料準備等の事業費の削減												

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	スポーツ推進審議会等スポーツ推進全般に係る事務	スポーツ推進審議会等スポーツ推進全般に係る事務	スポーツ推進審議会等スポーツ推進全般に係る事務	スポーツ推進審議会等スポーツ推進全般に係る事務	スポーツ推進審議会等スポーツ推進全般に係る事務	
	事業費	38,026	48,306	45,873	45,873	45,873	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	38	1,780	70	70	70
		一般財源	37,988	46,526	45,803	45,803	45,803
	人件費	22,623.48	30,059.4	30,059.4	30,059.4	30,059.4	
	投入人員	常勤職員	3.48人	4.21人	4.21人	4.21人	4.21人
		非常勤職員	0.56人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人
事業費+人件費		60,649	78,365	75,932	75,932	75,932	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	スポーツイベントの開催数	市主催スポーツイベントの開催数	回	3	3	3	3
	事務事業成果①	マラソン大会の市民参加率	戸田マラソン大会の市民参加率	%	30	30	30	30
	事務事業成果②	市民体育祭地区大会の参加者数	市民体育祭地区大会の参加者数	人	7,000	7,000	7,000	7,000
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 活動①は、マラソン大会、市民体育祭、体カテストの3事業のうち、全ての事業を実施することができた。 成果①は市民優先枠を設けることで、目標を達成した。 成果②はコロナ禍前の参加者数への回復には至っていないが、直近開催の令和4年度より5.6%参加者は増加した。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> スポーツ・レクリエーション活動を企画、実施することで、市民のいきがいの場の創出に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 目標達成状況から、事業費は効果的に使用されていると判断する。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 競技指導等に長けているスポーツ関連団体に対する補助によるスポーツ・レクリエーション活動の推進も図っており、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 公益性に鑑みて、適正である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	重点戦略2 テーマ② 取組名：戸田マラソン大会競技役員（職員）間情報共有の効率化 内容：各係における業務内容の問合せ及び回答、追加連絡等の情報共有に当たり、職員ポータルチャット機能（係毎のグループを作成）を活用したことで、情報提供の迅速化、業務効率化につながり、事務局の業務負担軽減を図ることができた。
令和7年度に実施する取組内容	重点戦略1 テーマ② 取組名：ナックルフォア艇購入に係る新規助成金の獲得 内容：スポーツの競技水準の向上、地域におけるスポーツ環境の整備など、スポーツ振興事業に対する助成を行う「スポーツ振興くじ助成金」を活用し、ナックルフォア艇購入費用を削減する（交付決定額1,368千円）。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 令和6年4月1日制定の「戸田市スポーツ推進条例」及び令和8年度から5年間を計画期間とする「第3期戸田市スポーツ推進計画」に基づき、「ポートのまちづくりコンソーシアム（令和5年度設置）」によるローイング競技の普及及び地域資源の活用や市内スポーツチームの応援気運の醸成を図ることで、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会をつくる。

事務事業名	21118 スポーツ施設管理費													
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当		
組織コード	R7	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	10	05	02	01	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	13	10	00		R6	01	10	05	02	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	10			○ 対象	
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実										● 対象外	
事業期間	昭和53年度～令和6年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法 戸田市スポーツ推進条例				関連計画 施政方針		戸田市スポーツ推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民、市内スポーツ関連団体、スポーツ施設利用者												
事業目的	市民に快適なスポーツの場を提供するため、スポーツ施設予約管理や学校施設開放事業を実施し、市民が身近にスポーツを楽しめる環境を充実させる。												
事業内容	公共施設（スポーツ施設）予約システムの管理・運用、中町テニスコート及び市立艇庫の維持・管理、学校施設開放事業の実施												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	スポーツ施設・市立艇庫の管理、学校施設開放					
	事業費	3,134	8,823	8,823	8,823	8,823	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	2,201	2,254	2,254	2,254	2,254
		一般財源	933	6,569	6,569	6,569	6,569
	人件費	7,151.1	10,638.6	10,638.6	10,638.6	10,638.6	
	投入 人員	常勤職員	1.1人	1.49人	1.49人	1.49人	1.49人
		非常勤職員	0.28人	0.28人	0.28人	0.28人	0.28人
事業費+人件費		10,285	19,462	19,462	19,462	19,462	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	学校施設開放事業の登録団体数	市内全小・中学校の学校開放施設使用登録団体数	団体	230	230	230	230
	事務事業成果①	学校施設開放事業の活動人数	学校施設開放事業の年間活動人数	人	400,000	400,000	400,000	400,000
					229	229	233	238
					332,277	436,053	427,314	439,628
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 活動①は、学校施設開放事業の周知により登録団体数が増加し、目標を達成することができた。 成果①は、学校施設附属設備（空調設備）の運用を開始したことで活動日等が増加し、目標を達成することができた。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 学校施設開放事業の実施、指定管理施設との連携等、市民が自主的・積極的にスポーツ・レクリエーション活動に触れる機会を創出、市民生活の活性化に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 目標達成状況から、事業費は効果的に使用されていると判断する。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	C：事業手法の一部に見直しが必要である。 <判断理由> 学校施設開放事業について、紙面により施設使用手続となっているため、デジタル化を含めた事業の見直しが必要である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 公益性に鑑みて、適正である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	
令和7年度に実施する取組内容	重点戦略2 テーマ①・② 取組名：学校施設開放事業における予約システムの導入 内容：学校、学校開放施設使用登録団体（市民等）及び文化スポーツ課の3者間における学校開放施設の使用に係る手続、スケジュール共有等について、システムを導入し、市民の利便性の向上、業務効率の向上、紙資料印刷コスト等の削減を図る。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 中町庭球場については、劣化状況が散見される中、小規模修繕で対応していたため、全面修繕も含め計画的な修繕の実施について検討を進める。 市立艇庫については、埼玉県ボート協会及び「ボートのまちづくりコンソーシアム」と施設活用について検討を行う。 学校施設開放事業については、予約システムを導入し、デジタル化による市民の利便性、業務効率等の向上を図る。

事務事業名	21120 スポーツセンター管理運営費														
担当組織	市民生活部					文化スポーツ課					担当	スポーツ担当			
組織コード	R7	13	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	10	05	03	01	01	記入日	令和 7年 6月 3日	
	R6	13	10	00		R6	01	10	05	03	01	01			

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	02	創造性や豊かな心を育むまち						再掲施策	10	31	● 対象		
施策	07	スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実							○ 対象外				
事業期間	平成16年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	スポーツ基本法					関連計画 施政方針	戸田市スポーツ推進計画						
	戸田市スポーツセンター条例						戸田市スポーツセンター条例施行規則						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-4、3-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民、在勤者												
事業目的	地域スポーツの拠点として、施設の適正管理に努めるとともに、各種教室を開催し、スポーツ人口の拡大・充実を図る。												
事業内容	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 ■ 委託 (■ 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み	重点戦略3 テーマ① 取組名：スポーツ教室参加者数増に向けた体験教室の実施 内容：指定管理事業であるスポーツ教室の参加者数の増加を図るため、指定管理者の自主事業によるスポーツ教室の体験教室を実施する。												

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	センターの管理運営及びスポーツ教室の開催					
	事業費	291,274	404,088	384,045	384,045	384,045	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	3,737	3,723	3,722	3,722	3,722
	一般財源	287,537	400,365	380,323	380,323	380,323	
	人件費	14,562.24	15,422.4	15,422.4	15,422.4	15,422.4	
	投入 人員	常勤職員	2.24人	2.16人	2.16人	2.16人	2.16人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		305,836	419,510	399,467	399,467	399,467	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	スポーツセンタースポーツ教室の参加者数	人	5,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	事務事業成果①	スポーツセンターの利用者数	人	17,544	18,014	20,184	24,573	—
	強化KPI①	実施回数	回	350,000	300,000	300,000	300,000	300,000
				319,079	349,847	382,785	371,594	—
				5	5	5	5	5
			5	5	5	5	—	
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 新型コロナウイルス感染症の影響がほぼ無くなり、昨年に続き全ての目標を達成できた。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> スポーツセンターは、市民が様々なスポーツ活動を行う中心的な役割を担っている。活動の継続にあたっては、施設の適正な維持・管理が不可欠であるが、現在まで適正に実施できている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 業務量に比して、適正な人員数である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 活動、成果の全ての目標値を達成した。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。 <判断理由> 指定管理施設の維持において、使用料が見合っていない。本件については、スポーツセンターの再整備と合わせ、検討していきたい。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	取組名：スポーツ教室参加者数増に向けた体験教室の実施 内容：昨年度に続き指定管理者の協力を得てスポーツ教室の体験教室を実施し、スポーツ教室への入会につなぐことができた。 親子スキンシップ体操、親子スイミング、一般スイミング、空手道、柔道など計14教室 年間延べ体験教室参加件数：128件→スポーツ教室入会件数：41件（入会率：32%）
令和7年度に実施する取組内容	(1)スポーツ教室について、体験教室の実施による周知勧誘活動や継続的な設置クラスの見直しを行うことで、市民にとってより効果的で魅力的なスポーツ振興を推進する。 (2)スポーツセンター基本構想策定業務を継続し、施設整備及び運営方法について基本構想をまとめる。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 令和7年度は、センター施設や設備の老朽化による修繕の重なりや物価高騰等に伴う指定管理費の増があり、予算が大きいものとなっているが、令和8年度以降は、現時点では通常運営となり、状況に応じて対応していく。引き続き、教室事業、施設貸出については、市民のニーズに合わせた事業を展開し、一層のサービス向上を図っていく。 なお、施設料金の見直しについては、施設の改修計画を考慮しながら検討を進めていきたい。 また、令和7年度に完成する基本構想を踏まえて、基本計画の策定を進めていく。